

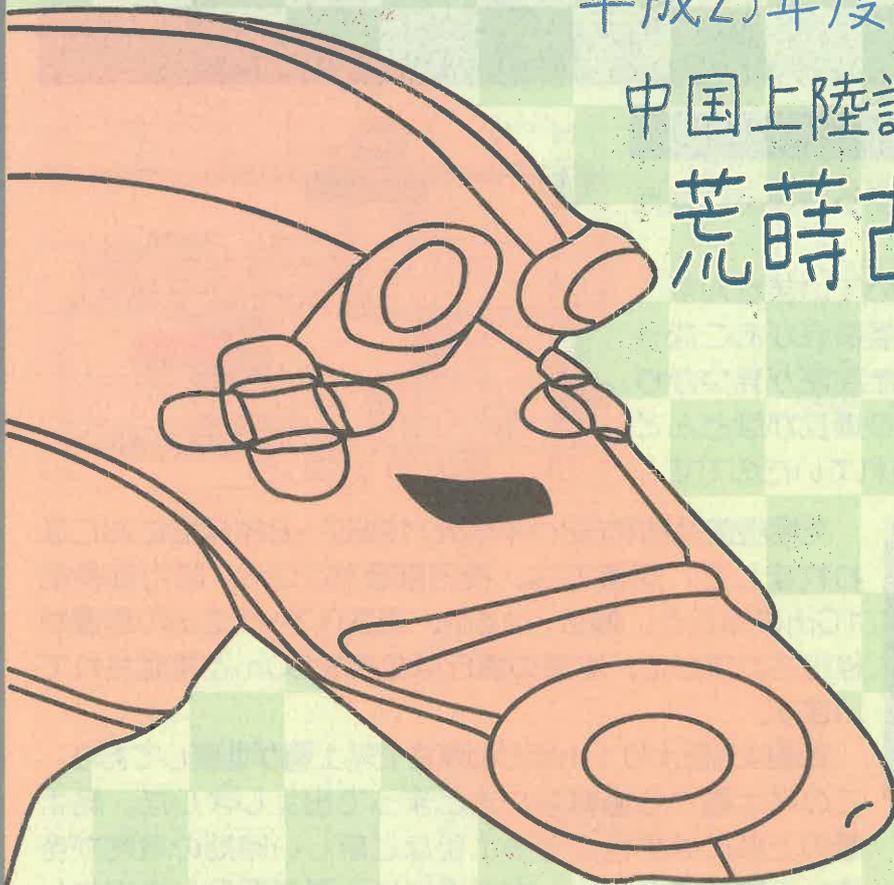
天理市埋蔵文化財センターだより

Vol.12

平成23年度夏の文化財展

中国上陸記念

荒蒔古墳の埴輪展



『発掘の現場から
-地下に眠る天理の昔々-』

◎平成23年度夏の文化財展

中国上陸記念

荒蒔古墳の埴輪展

平成23(2011)年8月13日(土)~28日(日)

※ 9:00~17:00

※ 15日(月)、22日(月)は休館

天理市文化センター
1階展示ホールにて

◎文化財講演会と展示解説

8月21日(日)14:00~

1階展示ホールにて

天理市教育委員会文化財課がこれまでに実施した市内の遺跡の発掘調査により、多くの成果が得られてきました。それらの成果の一部について、平成18年度より夏と冬、年2回の文化財展示をおこない、市内の埋蔵文化財について理解を深めていただけるように努めています。

今回の「センターだより」では、中華人民共和国陝西省において今秋開催される日本考古展に、本市より荒蒔古墳出土埴輪の一部が出品されることを記念し、荒蒔古墳から出土した多彩な埴輪をご覧いただきます。



荒蒔古墳の埴輪展

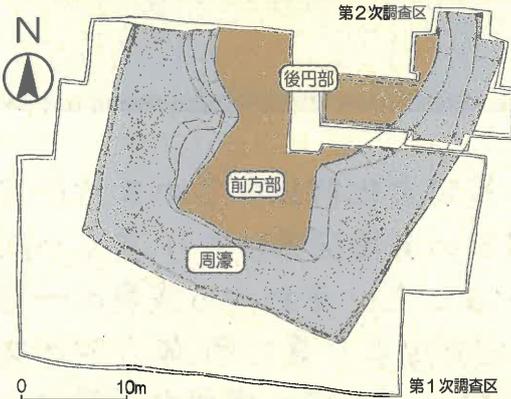
荒蒔古墳の調査

荒蒔古墳は天理市荒蒔町に所在する古墳時代後期の前方後円墳です。

荒蒔古墳は現在地上に姿をとどめていませんが、高層住宅の建設に伴い天理市教育委員会がおこなった発掘調査により、地下に埋没した周濠が見つかりました。古くからの水田開発により墳丘がほとんど削り取られ、周濠のみが地下に残されていたのです。



発掘調査は昭和63～平成元(1987～88)年度におこなわれました。調査では、後円部径約20m、前方部長約10mの墳丘と、幅6～14m、深さ0.7～1.2mの周濠が検出されました。本来の墳丘は全長約30mと推定されています。



周濠は底面より1mほどの厚さで粘土層が堆積しており、この粘土層から埴輪類がまとまって出土しました。粘土層の上部には黒色土器や土釜など新しい時期の遺物が含まれていることから、中世頃には周濠が埋没し水田化したものと考えられています。荒蒔古墳北側の墓地には家形石棺の蓋石を流用した墓碑がありますが、これは墳丘が削り取られた際に出土したものかもしれません。

出土した埴輪はほとんどが破片でしたが、復元可能なものや完形品が多く、もとは墳丘に並んでいた埴輪が少しずつ転落したようです。出土した埴輪の特徴から、古墳の築造時期は6世紀前半と考えられています。



荒葺古墳の埴輪

■人物埴輪

帽子をかぶった男性、髷まげを結った女性など6点が出土しました。馬牽きの男性は馬形埴輪とセットで並べられていたようです。



飾馬



裸馬

■馬形埴輪

馬体に鞍くらや鐙あぶみをそなえ轡くつわや杏葉ぎょうようで飾った飾馬かざりうまが1点、鞍をそなえない裸馬はだかうまが2点出土しました。



■鶏形埴輪

■犬形埴輪・猪形埴輪

威嚇いこくするような姿勢の猪いのししは狩りの様子を表現しているとも言われます。



犬

猪



■家形埴輪

入母屋造りの家形埴輪が3点出土しました。



■大刀形埴輪

鹿狩りの場面が線刻により描かれています。



■石見型埴輪



■さしば形埴輪 (双脚輪状文埴輪)



■円筒埴輪



左のマークが付された埴輪は、中華人民共和国陝西省において今秋開催される日本考古展に出品される予定です。

出動！発掘現場レポート！！

平成22年度下半期の調査

天理市教育委員会は平成22(2010)年度下半期に発掘調査を4件実施しました。ここではその成果をいち早くお知らせいたします。

■山の辺第1工区土地区画整理事業に伴う調査

土地区画整理事業に伴い田部町内で3か所の調査をおこないました。縄文時代後期から古墳時代に至る時期の遺物を含む自然河川の跡を数条検出しました。自然河川が時期によって位置を変えながら、長期間にわたって流れ続けていたことがわかります。

■成願寺遺跡第18次

個人住宅建設に伴い佐保庄町内で調査をおこないました。調査では古墳時代前期の溝状の遺構が見つかりました。すぐ南側に所在するノムギ古墳との関連が注目されます。

■ノムギ古墳第4次

大和古墳群基礎調査の一環として、昨年に引き続きノムギ古墳（前方後方墳）の範囲確認調査をおこないました。今回の調査では後方部南西角の墳丘裾が見つかり、後方部形状や規模を復元する上で重要な手がかりとなりました。

■長寺遺跡第17次調査

宅地造成に伴い欽本町内で調査をおこないました。中世に属する南北方向の大溝のほか、弥生時代中期ごろの土坑や溝を数多く検出しました。土坑のなかには壁面や床面が真っ赤に焼けているものもあり、火を用いた何らかの作業がおこなわれていたようです。



■平成22年度下半期の調査遺跡



■山の辺第1工区 土地区画整理事業に伴う調査
航空写真(東から)



■ノムギ古墳第4次
航空写真(左が北)



■長寺遺跡第17次
調査風景

平成22年度の調査成果は
今年冬の文化財展で
展示するよ！



市役所1階市民ホール 写真展示のお知らせ

市役所1階市民ホールにて写真パネルの展示をおこないます。

テーマ：『柳本古墳群における発掘調査の歩み』

『天理市とその周辺の地震災害史』

期間：平成23(2011)年8月29日(月)～9月7日(水)

※土曜日、日曜日は閉庁しています。

『天理市文化財・遺跡分布地図』改訂のお知らせ

『奈良県遺跡地図』の改訂に伴い、『天理市文化財・遺跡分布地図』も改訂しました。

■『天理市文化財・遺跡分布地図(平成23年4月1日現在)』

販売箇所：天理市立黒塚古墳展示館・天理市埋蔵文化財センター

問い合わせ：天理市教育委員会文化財課 Tel・Fax：0743-65-5720

発行◆天理市教育委員会 文化財課
天理市埋蔵文化財センター

〒632-0017 奈良県天理市田部町320

Tel・Fax 0743-65-5720

印刷◆富光株式会社

※「天理市埋蔵文化財センターだより」Vol.13 は、平成23年冬発行予定です。
お楽しみに！！